



令和2年度 教育活動に関するアンケートについて

本校の教育活動についてのアンケートに御協力いただきまして、ありがとうございました。この度、アンケートの結果をまとめましたので、御報告いたします。

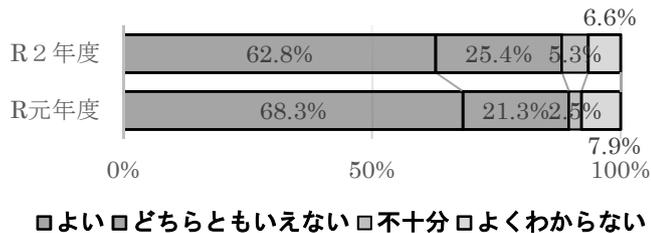
I 保護者アンケート

保護者アンケートの概要

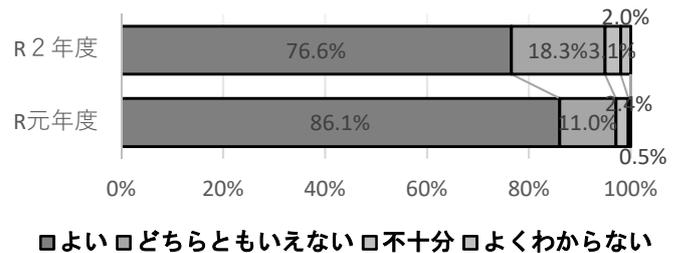
- 1 実施期間 令和2年11月29日～12月6日
- 2 調査対象 本校保護者 504名（家庭数）
- 3 回答方法 【よい・どちらともいえない・不十分・よくわからない】の4肢から選択

1 結果（昨年度との比較）

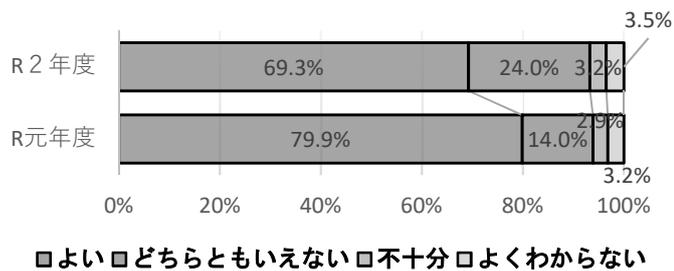
1 教職員は、授業において子供同士の交流の場面を設定したり、個別の指導を行ったりすることで、子供たちの学ぶ意欲を伸ばし、一人一人の努力を認める教育活動に取り組んでいる。



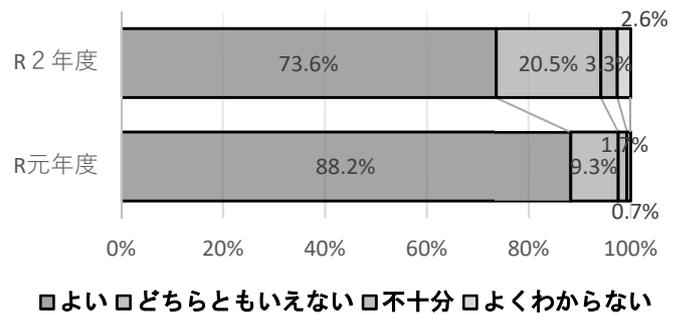
2 学校は、学校だより、学年便り・学級便りの発行、学校ホームページなどで、子供たちの様子や学校の取組を分かりやすく発信している。



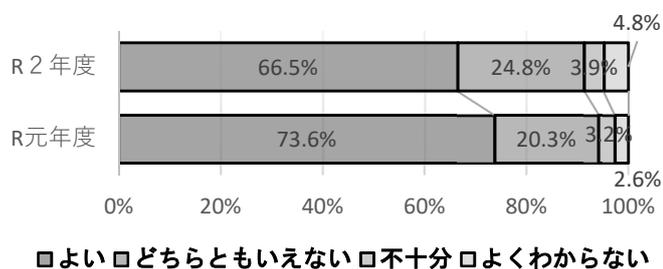
3 学校は、学校公開、保護者会、個人面談や個別の連絡等を活用し、学校での子供たちの様子を家庭や地域の方に伝えたり、共通理解を図ったりしている。



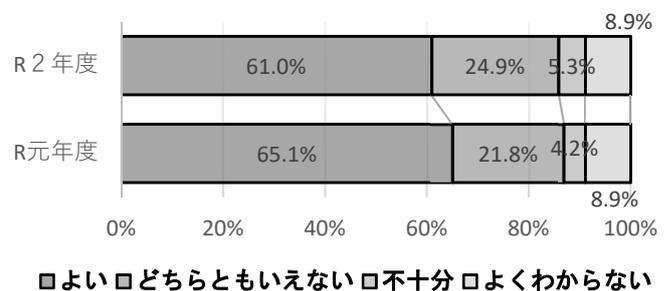
4 学校は、学校行事について、開催時期、内容、回数等、適切に行っている。



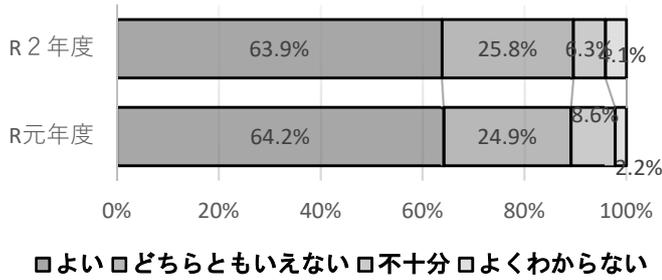
5 教室の換気を行うことや学校歯科医による講話の機会を設けること等の健康の維持増進に関する指導は、子供たちにとって効果的である。



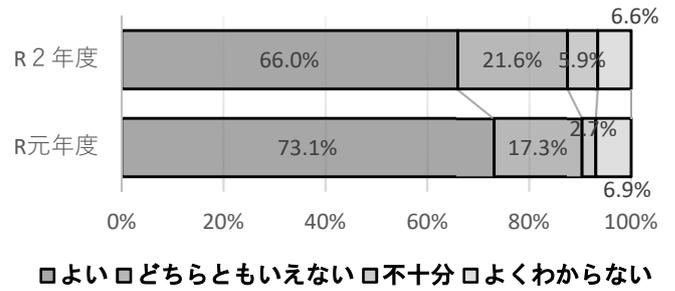
6 学校は、保護者の方からの相談や子供たちのトラブル、事故・けが等に迅速かつ適切に対応している。



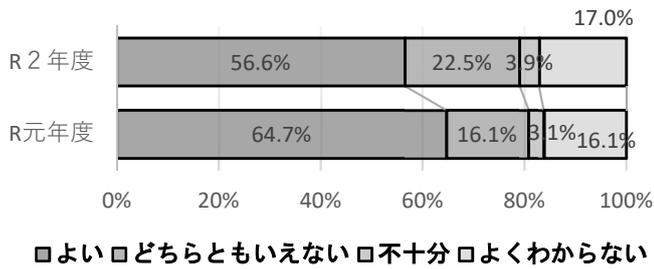
7 学校は、学校ホームページや学校連絡メールを活用し、子供たちの登下校時等の安全を守ることにに関する情報を提供している。



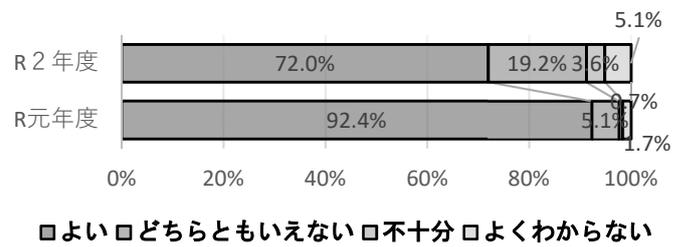
8 教員は、子供たちが関心や意欲をもって学習に取り組めるよう、教材や指導法を工夫した分かりやすい授業を行っている。



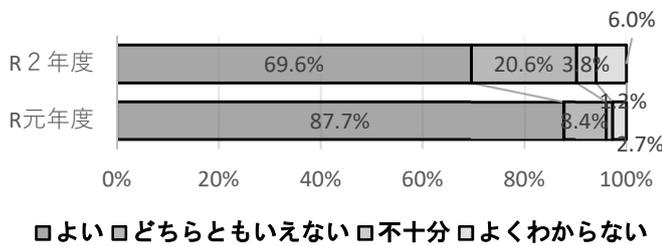
9 教員は、3年生以上の算数科における習熟度別指導および5年生以上の外国語活動において、子供たちが楽しく学習するとともに学習内容を身に付けられるような指導を行っている。



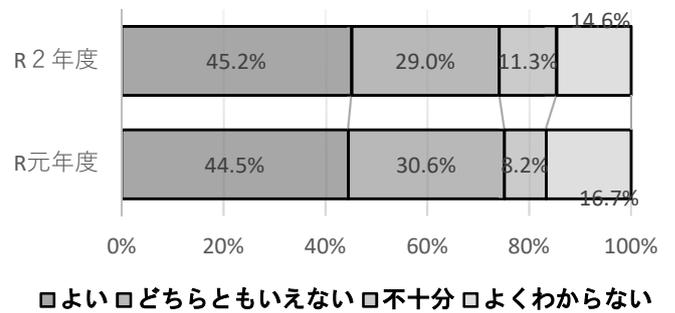
10 学校は、1・2年生の生活科および3年生以上の総合的な学習の時間では、地域を見学したり、学区内の畑で作物を育てたりするなど地域の特性や教育力を生かした指導を行っている。



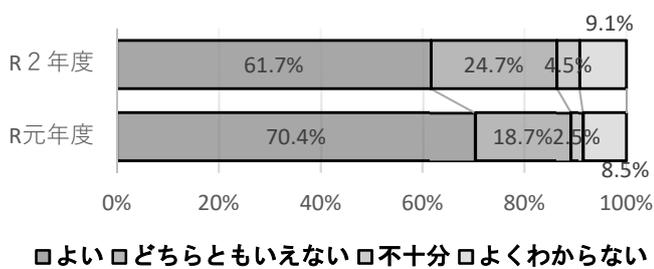
11 体力テスト等の結果を生かした体育朝会を行うこと、マラソン週間や縄跳び週間に取り組むこと、取組内容を工夫した体育の授業を継続的に行うことは、子供たちの体力向上に有効である。



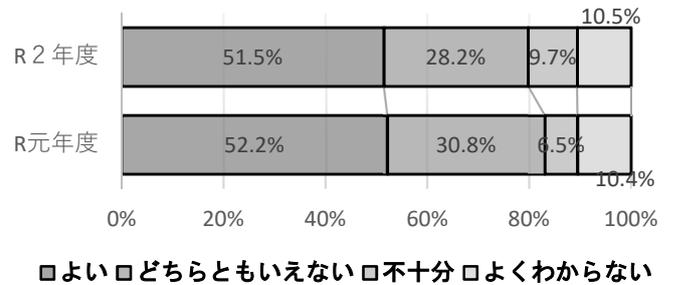
12 子供たちの誤った行動や暴言・粗暴行為等に対する全教職員の指導は適切である。



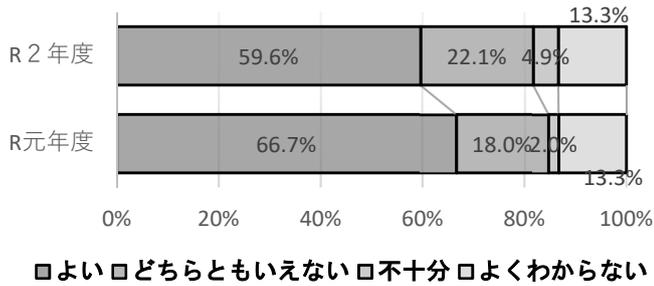
13 学校は、スクールカウンセラー、心のふれあい相談員、生活支援員と連携し、子供一人一人に寄り添った指導を行う体制を整えている。



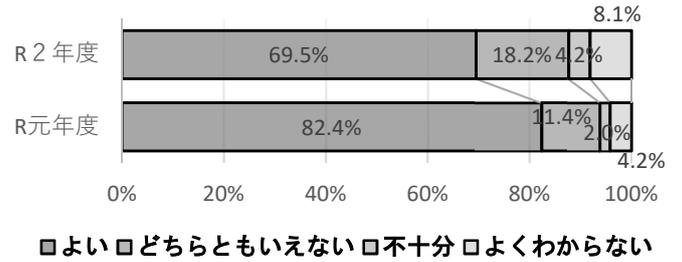
14 子供たちに、挨拶や言葉遣い・廊下歩行等、基本的な生活習慣の定着を図る指導を全教職員で行っている。



15 道徳の時間の指導は、子供たちの多様な意見を引き出し、子供たちの心が豊かになるような授業である。

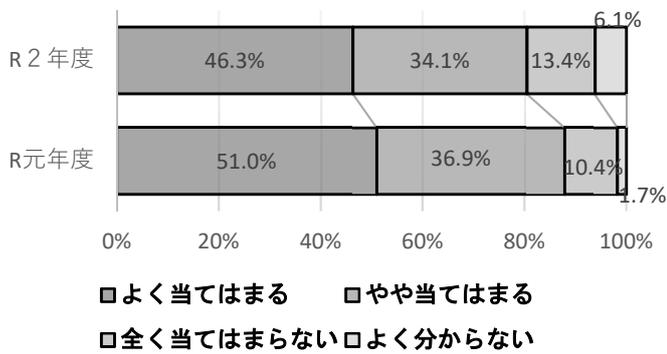


16 教員は、子供たちが食生活に関心を持ち、規則正しい食事、栄養バランスや食事量への配慮等、健康的な食習慣が身に付くような給食指導を行っている。

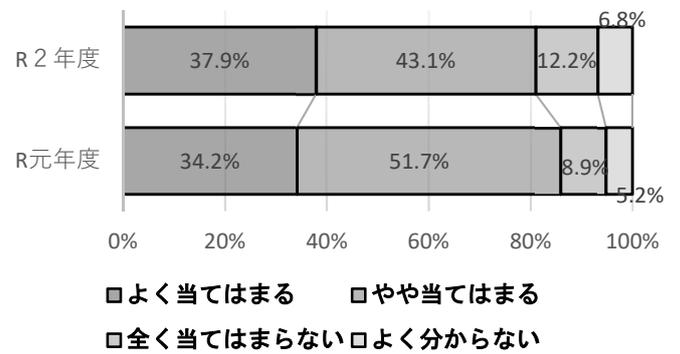


2 児童の様子

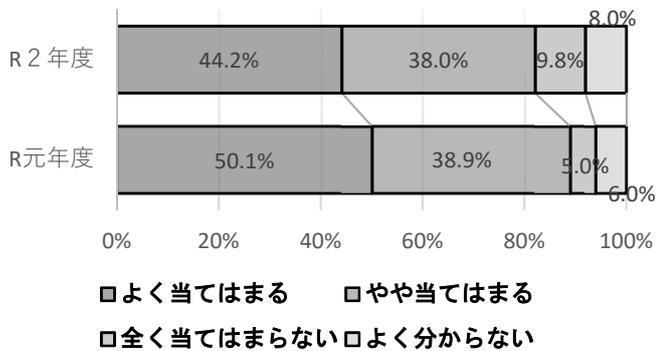
1 あいさつができる。



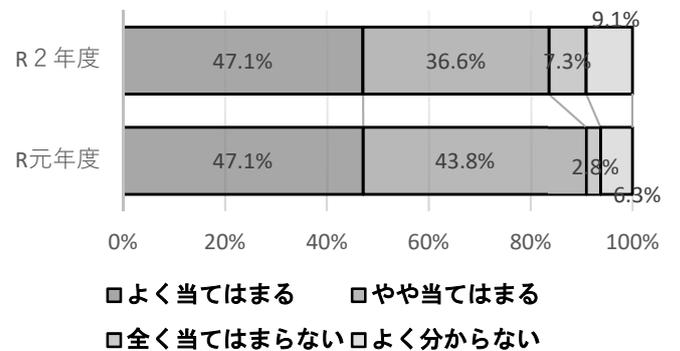
2 適切な言葉遣いができる。



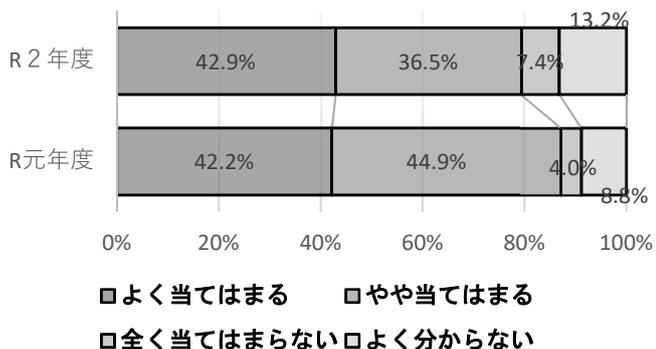
3 きまりや約束事を守っている。



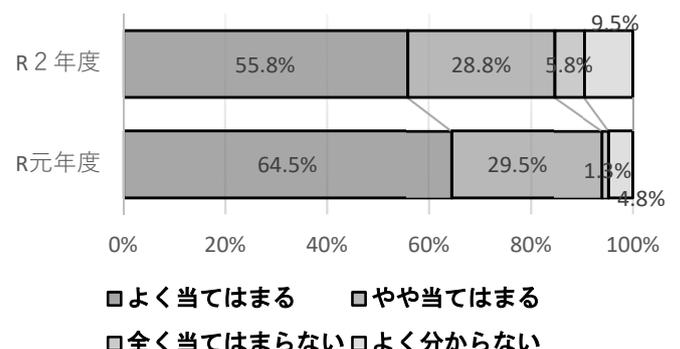
4 学習に対して意欲がある。



5 学習に対して粘り強く取り組んでいる。



6 優しい心や思いやりの心がある。



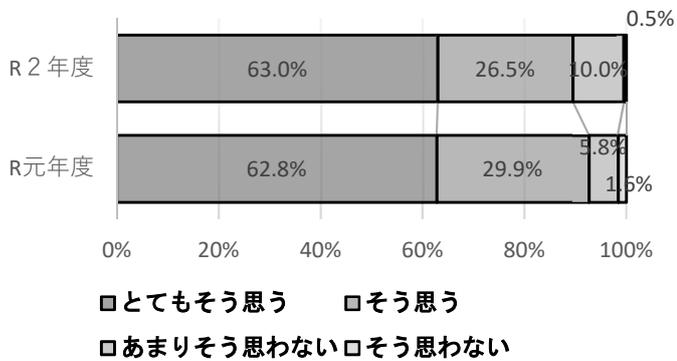
II 児童アンケート

児童アンケートの概要

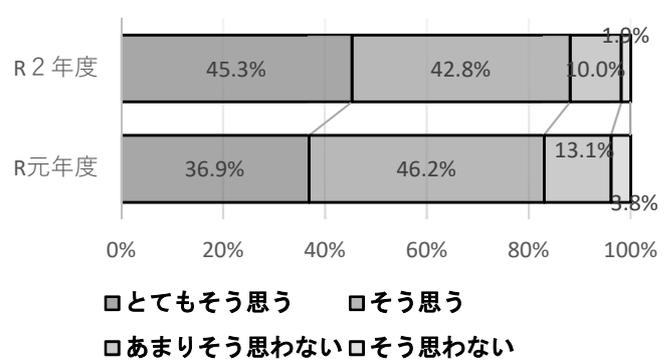
- 1 実施期間 令和元年11月29日～12月17日
- 2 調査対象 本校児童 632名
- 3 回答方法 【とてもそう思う・そう思う・あまりそう思わない・そう思わない】の4肢から選

1 結果（昨年度との比較）

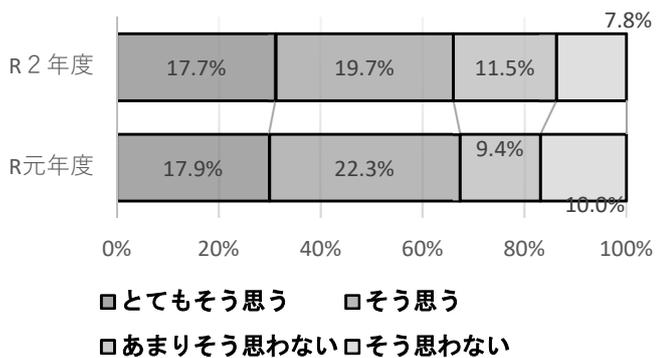
1 学校は、楽しいですか。



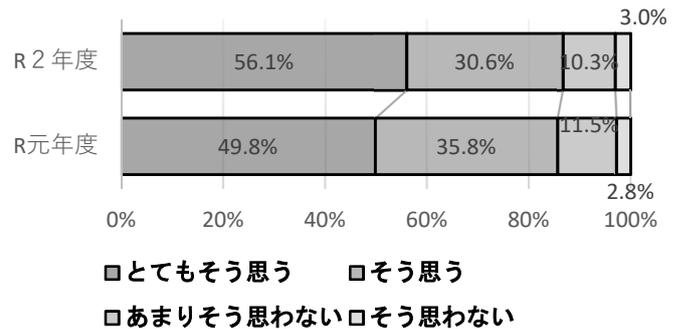
2 先生の授業は、よくわかりますか。



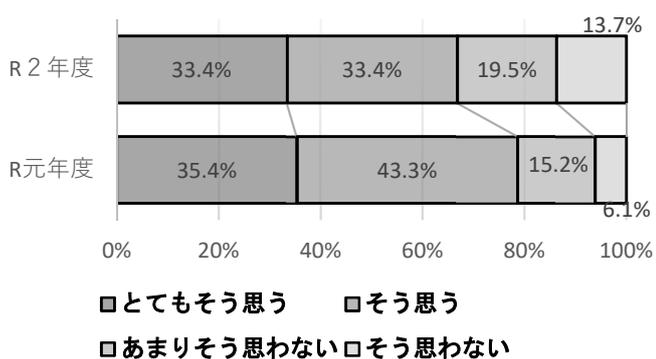
3 困ったときは、先生に相談していますか。



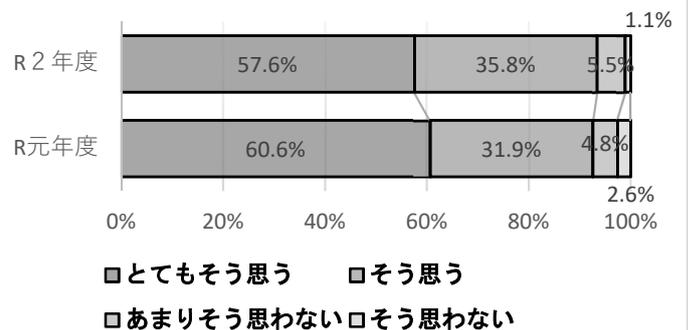
4 自分からすすんで、あいさつをしていますか。

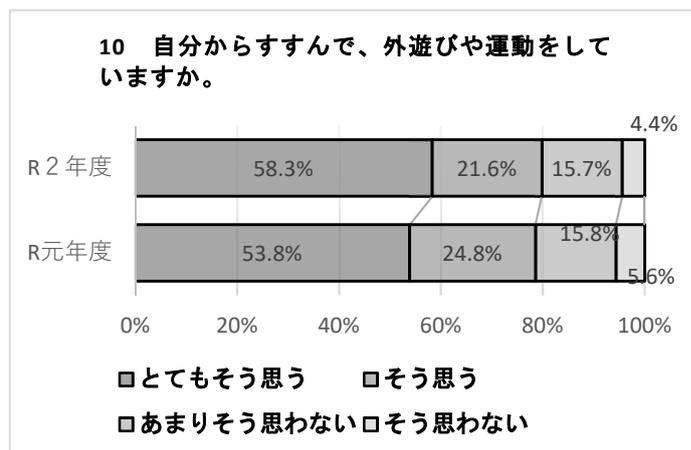
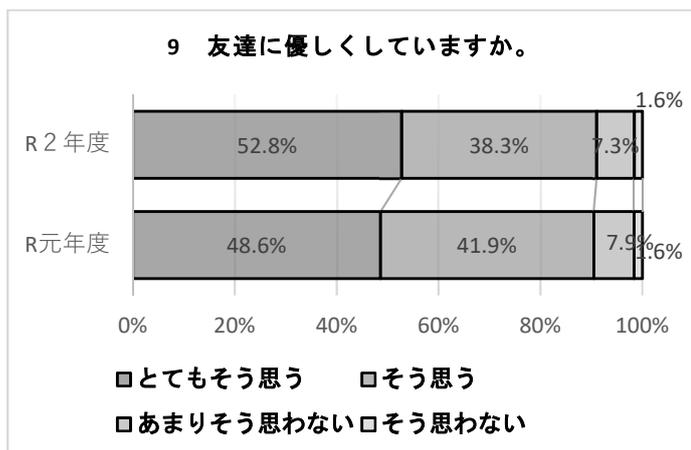
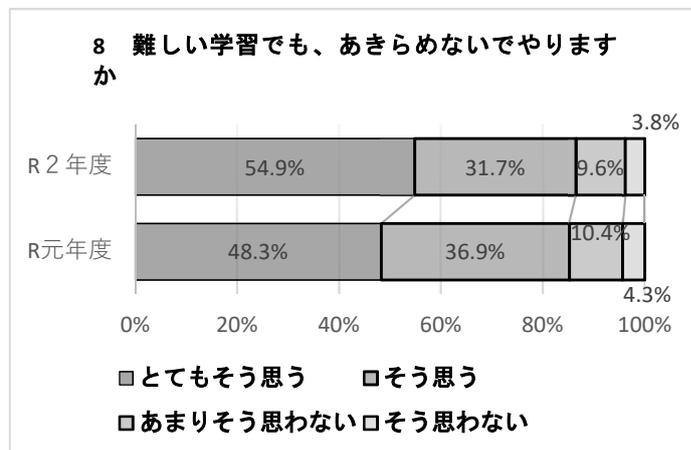
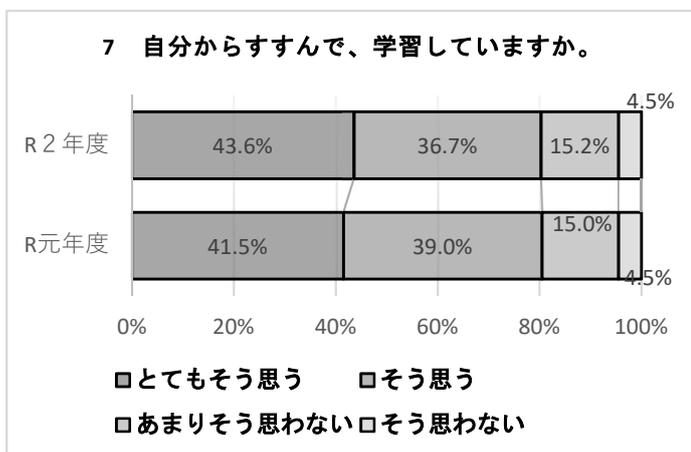


5 乱暴なことばを使っていませんか。



6 学校のきまりや交通安全を守っていますか。





2 考察

保護者の皆様からの評価では、学校の教育活動、児童の様子ともに、昨年度より肯定的評価のポイントが下がっています。

児童の学校生活に関するアンケートでは、10項目中9項目で肯定的評価のポイントが上がりました。

この結果について3つのことを考えました。

1つ目は、学校の教育活動に対する評価に関するものです。

多くの項目で「よい」のポイントが下がりました。また「不十分」のポイントがあがりました。そして最も特徴的なのは、「どちらともいえない」のポイントが大幅に増えていることです。原因は評価のための情報不足だと考えます。自由記述で「学校での子供の姿を見ていないので分からない」という趣旨のご意見を多数いただきました。新型コロナウイルス感染拡大の影響で、保護者の皆様に子供たちの様子を見ていただく機会が減少したことが評価に影響してしまったと考えます。

来年度の改善として、

- ①感染拡大防止対策を十分にとりながら、学校公開、行事を実施します。
- ②ホームページをいっそう充実させます。
- ③学習パソコンを活用しての情報提供方法を検討、実施します。

2つ目は、児童の評価結果についてです。

多くの項目で肯定的評価のポイントが上がったことは、学校としては嬉しいことです。全教職員が授業改善に努めたことが大きな要因だと考えます。新しい学習指導要領の全面実施を受け、子供たちが「主体的、対話的で深い学び」を実現できるよう、研修を重ねました。関心意欲を高める導入の工夫、友達と交流できる場の意図的な設定、学んだことを価値付ける授業のまとめの工夫などをどの学級のどの授業でも取り入れるよう努めました。感染拡大防止のためグループ学習などは制限されていますが、より一層の改善に励み、すべての子供が学ぶことを楽しめる学校を実現してまいります。

3つ目は、保護者の皆様と児童の評価のギャップについてです。

子供たちなりにがんばり、肯定的に見ているものであっても、大人からは不十分に見えるものもあるということです。学校は子供たちの意欲を大切にしつつ、保護者の皆様に安心して任せられる教育活動を行う使命があります。ギャップを小さくしていくために、保護者の皆様からのご意見をうかがう機会を増やす必要があると考えます。来年度は、学校公開や行事の後にご意見をうかがえる方法を検討、実施してまいります。

今回のアンケートでたまわった主な自由記述を紹介します。

(交通安全)

- ・登下校時、友達とのやり取りに夢中で、車道にはみ出たり、車の存在がわかっていながらも端へ寄らなかつたり、クラクションを鳴らされているグループを見かけるため、教職員による状況把握や注意喚起が必要ではないかと思っております。
 - ・登下校時の歩行マナーが気になります。道に広がったり、両端に歩いていたりして車が通る時もクラクションを鳴らされないとよけない子たちが多いと思います。
 - ・新型コロナウイルス対策で集団登校を中止していると思いますが、近所の友達と集団になってしまい、かつ1年生だけでの登校となり、白線をはみ出したり走ったりして危険です。登校班の人数を少なくするなど(2~3つに分ける)中、高学年と一緒に登校できると安心です。
 - ・登下校の時の子供たちの様子を見ると広がって歩いている。ふざけて車道にとび出すなどの姿が多くみられる。
 - ・登下校の時、危ない様子をよく見ます。
- 毎月、学級で安全指導を行っています。加えて、登下校時の教員によるパトロールなど、実際の場での指導を行えるようにします。

(情報提供)

- ・コロナの影響で公開授業の回数が減るなど、子供たちの日ごろの様子を見る機会が少なかったのが残念です。
 - ・コロナで学校にかかわることが少なかったので、十分に評価できず。
 - ・コロナ禍により保護者として小学校の教育活動に参加したことがほとんどなく、子供からも情報が上がってこないため、空欄が多くなってしまいました。
 - ・参考資料にある各種取り組みについて、「そんなことやってたの?!」と初めて知って驚いたものがありました。(Zoomによる全校朝会など)。おたよりやHPでもっと発信してもらえるとありがたいと思います。
 - ・紙の配布を減らしてほしい。先生によってはメールの連絡で非常に助かっている。HPやメールの活用をどうぞよろしくお願いします。
 - ・ホームページへもっと情報をあげてほしい
- 考察でも触れました。こうした状況下だからこそ、ホームページを有効な伝達手段と考え、内容を充実させてまいります。また他の手段も活用できるようにしてまいります。

(あいさつ)

- ・近所の子に挨拶をしても返ってこないことが多い。
 - ・下校見守り隊をさせていただきましたが、高学年の皆さんはほとんどあいさつをしてくれないのが気になりました。これは先生方はキチンと指導されていると思いますが、やはり、私たち親も家庭内でしっかり教えるべきことと思いました。登下校で旗持ちしてくれているシルバーのかたに申し訳ない気持ちになりました。
 - ・自分からあいさつをする子はいないと思う。
 - ・下校見守りの時、半分くらいしかあいさつしない。
 - ・あいさつの習慣が身に付いていない。
- 多様な指導を行っています。まず大切なことはあいさつをすると気持ちがよい、という経験を積ませることだと思います。学校でもご家庭でも地域でも、大人からも元気なあいさつをしていきましょう。

(その他)

- ・家の中でのしつけが悪いのが前提ですが、高学年につれてゲーム内での言葉遣い=現実社会でも一緒になって、かなり耳が痛くなることを言ってしまうています。小学校時代でここまで悪いとどうなのかなと思っています。もちろん、家庭内でのしつけが一番ですが…
- ゲーム、言葉遣い、生活リズムの乱れなど、気が付くと望ましくない習慣が身に付いてしまうことがあります。子供たちの自主性、判断力も大切ですが、放任してはいけないと思います。学校とご家庭、同じスタンス、基準で指導をしていけるよう、協力をお願いすることも予想されます。よろしくお願いします。

この他にも貴重なご意見をたまわりました。来年度の学校の教育活動に活用させていただきます。また、今後もお気付きのことがございましたら、遠慮なくお知らせくださいますようお願いいたします。